



マキシム・ヴェンゲーロフ ヴァイオリン公開マスタークラス

野島 稔 学長インタビュー[日本芸術院賞受賞].....2
Interview of Minoru Nojima, President of Tokyo College of Music, recipient of Japan Art Academy Award

マキシム・ヴェンゲーロフ ヴァイオリン公開マスタークラス..4
Violin Master Class by Maxim Vengerov

東京音楽大学&京都市立芸術大学 吹奏楽交流演奏会
音楽大学フェスティバル・オーケストラ.....5
*Wind Orchestra Exchange Concert : Tokyo College of Music & Kyoto City University of Arts /
The College of Music Festival Orchestra Concert*

バイエルン州立青少年オーケストラと提携.....6
Bavaria State Youth Orchestra

ピアノ・創作コース、コンポーザー=ピアニストコース 新設..8
New Piano Courses : Creation and Piano Performance / Composer-Pianist

大学院博士後期課程 新設.....9
Doctoral Program

卒業生インタビュー.....10
Graduates' Interviews

2013年度 卒業生の進路 他.....12
Students' Employment Opportunities 2013

2014年度 東京音楽大学奨学生
新入生アンケート結果.....14
Tokyo College of Music Scholarships 2014 / Survey of New Students

2014年度 入学者出身校一覧.....15
List of Students' Alma mater High Schools 2014

卒業演奏会/合唱共演 日本フィルハーモニー交響楽団..16
Graduate Concert / Tokyo College of Music Chorus with Japan Philharmonic Orchestra

レインボウ21 サントリーホール デビューコンサート 2014..17
Rainbow21 Suntory Hall Debut Concert 2014

オープンキャンパス 2014 他.....18
Open Campus 2014

東京音楽大学付属高等学校 卒業演奏会/交歓演奏会 他..19
Tokyo College of Music High School Concerts

Concerts 2014

東京音楽大学主催演奏会

第6回 声楽教員によるコンサート

9月13日(土) 16:00 本学100周年記念ホール

第7回 ピアノ教員によるコンサート ~小川 典子 ピアノリサイタル~

10月4日(土) 18:00 本学100周年記念ホール

弦楽アンサンブル 第24回 演奏会

10月18日(土) 17:00 本学100周年記念ホール

シンフォニーオーケストラ 定期演奏会

11月28日(金) 19:00 東京芸術劇場コンサートホール

特別演奏会 エリッソ・ヴィルサラゼ ピアノリサイタル

2015年2月26日(木) 18:00 本学100周年記念ホール

卒業演奏会

2015年4月27日(月) 19:00 東京文化会館小ホール

[お問い合わせ] 東京音楽大学 演奏課 03-3982-2496

コンサートの詳細はホームページをご覧ください。

2014年度 冬期受験講習会日程 2014年12月23日(火・祝)~12月27日(土)
受講申込期間: 11月26日(水)~12月3日(水)

2015年度 東京音楽大学入学試験日程
弦管打楽器優秀者選抜入学試験 一次試験 書類審査 二次試験 11月16日(日)
願書受付期間: 10月1日(水)~10月10日(金)
※郵送受付のみ。10月10日(金)必着

一般入学者選抜試験 2015年2月16日(月)~2月20日(金)
願書受付期間: 1月13日(火)~1月19日(月)
※郵送受付のみ。1月19日(月)消印有効

〈声楽・器楽〉特別選抜試験 2015年3月22日(日)~3月24日(火)
願書受付期間: 3月6日(金)~3月10日(火)
※郵送受付のみ。3月10日(火)必着

[お問い合わせ] 東京音楽大学 教務二課 03-3982-3221
詳細はホームページをご覧ください。

芸術祭 11月1日(土)~11月3日(月)



野島 稔 学長

Minoru Nojima

インタビュー

2013年度日本芸術院賞を受賞された野島稔学長に、ご自身の音楽との出会いと音楽家を志す若者へのメッセージを伺いました。

◆芸術院賞受賞にあたって

大変ありがたいことだと思っています。私は、学生時代から脇見もせず、ピアノリストの道をひたすら進んできました。外国と日本を長い間行き来して、弾くことだけに専念して何十年も活動してきましたが、今から15年ほど前から、コンクールの審査や大学での指導を通じて、若い人たちと数多く接するようになり、「自分が彼らの助けになれるかもしれない」という実感がわき始めました。ただ、もともと私はピアノリストとしても不器用で、時間をかけて練習しないと気が済まないタイプなので、教育面への時間的配分に非常に苦労します。しかし今回、自分の「演奏者」と「後進の育成」の両面を認めていただいたことを非常にうれしく思っていますし、そうした苦勞も報われた気がします。

◆ピアノとの出会い

3歳からピアノを弾き始めましたが、始めたきっかけを明確には覚えていません。ただ、私の家には、戦後間もない頃からオルガンがありました。父は当時からそうした「ハイカラなことが好きで、私にピアノを習うことを勧めたよう



三浦 朱門 日本芸術院長(右)より受賞する野島 稔 学長(左)

手、足があり、血が流れ、心臓の鼓動がある。そうした生命体として自分の中で生きさせようと思っても、我々が演奏する楽曲は、天才たちが崇高な靈感を得て描いた人類の遺産のようなものですから、何か月か練習しても100%理解することはとても無理です。だからこそ、不断に、それを理解するための努力をしなければいけない。自分は100%以上努力して、やっとその曲の何%かを表現できるのです。その作品が求めていることを理解して表現するために

◆演奏家を目指して

私の実家は横須賀です。毎日遊ぶのに忙しく、一日中、野山を駆け巡るようなごく普通の田舎の少年でしたが、ピアノはずっと続けていました。小学校5年生の時にN響と共演したり、学生コンクールで優勝したり、順調だったといえるでしょう。そして「自分は一生音楽をやるだろう」と自覚したのは、たぶん中学2年生だったと思います。ただし、音楽以外のことも勉強したい気持ちがあり、高校は近所の普通高校に入りました。それまであまりに順調だったため、自分にブレーキをかける意味で、普通高校

◆身も心も音楽に捧げる

は、継続的に努力することが最も重要であり、それが演奏する側の醍醐味でもあります。どんな楽器でも、作曲でも、「デディケーション(Dedication)」＝自分を音楽に捧げる」ということを十分意識して欲しいと思います。そして、それが勤勉さと努力を生むわけですから、それが獲得できるものには、追い求める価値はありません。非常に困難だからこそ、追いつめるわけです。これから音楽家を目指そうとしている皆さんはまだ若いのですから、まず一所懸命何かをして欲しいと思います。仮にまだ自分の中で決まることが決まっていなくても、そのことを毎日毎日一所懸命考える。それだけで立派な「デディケーション」だと言えるでしょう。そして、「デディケーション」を身につけていくには、高校3年間と大学の最初の2年間で非常に大切だと思っています。

◆東京音楽大学とは

音楽との色々な関わり方があり、色々な人生



©Christian Steiner

Profile

神奈川県横須賀市生まれ。3歳からピアノを始め、井口愛子氏に師事。1966年桐朋学園大学2年次に、ソビエト文化省の招きでモスクワ音楽院に留学、レフ・オポリン氏に師事。1975年東京音楽大学非常勤講師。1993年より東京音楽大学客員教授。1956年第10回全日本学生音楽コンクールピアノ部門小学生の部第1位。1959年第13回全日本学生音楽コンクールピアノ部門中学生の部第1位。1963年(高校3年)第32回日本音楽コンクールピアノ部門第1位・大賞を受賞。1968年海外派遣コンクール優勝。1969年第3回ヴァン・クライヴァーン国際ピアノコンクール第2位入賞。日本を代表する国際的なピアニストであり、長年に渡り、日本とニューヨークを本拠に、リサイタル活動や世界的なオーケストラ・指揮者との共演を重ねる。1981年より数回、ヴァン・クライヴァーン国際ピアノコンクールの審査員。その後多くの国際ピアノコンクールの審査員を務めるほか、CD録音にも力を注ぐ。2006年より横須賀芸術劇場にて「野島稔・よこすかピアノコンクール」をスタート、自ら審査委員長を務め、後進の育成にも意欲を燃やしている。2008年第57回神奈川文化賞を受賞。2001年の初回より毎回仙台国際ピアノコンクールの審査委員長、2010年、2013年エリザベト国際ピアノコンクール審査員。2011年本学学長に就任。



ベートーヴェン/ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」(2014年4月13日)

提供:横須賀芸術劇場

◆勤勉さをもって音楽と向き合う

本学の学生に限らず、トップクラスの学生たちには「勤勉さ」という共通点があります。とにかく四六時中練習し、音楽のことを考える時間が長い。音楽のことを集中して考える時間と成長度合いは、正比例すると思います。私は道を歩いていても、「さっき練習していた曲のあそこがわからない」「音の流れをこういう風にしたい」と思うことがあります。練習時は自分の出している音を聴いています。楽器から離れている時もその音を想像するわけです。楽曲は、生きたひとつの生命体です。そこには頭、

があります。演奏家として脚光を浴びる存在でなくても、教育者をはじめ、音楽と共に生きていく様々な道がある。そして、音楽は生き物ですから、先入観を捨て、自分を型にはめ込まないことも大切です。そこに正確な答えがある世界というわけではないのです。だからこそ、学生一人ひとりの「テンペラメント(Temperament)」＝「精神的素質」を我々指導者が見極めることが大切です。東京音楽大学にはそのための豊かな土壌があると、私は思っています。いつの時代でも、未来を創るのは若い感性です。本学の多大なる情熱をもった指導陣と共に、音楽を探求し追求して欲しいと思っています。



受賞者(左から)野島稔学長・香川 靖嗣氏・小野 功龍氏・吉田 玉女(本名:大西 彰)氏

東京音楽大学 & 京都市立芸術大学 吹奏楽交流演奏会

2014年7月3日(木) 18:30 ザ・シンフォニーホール

東京音楽大学と京都市立芸術大学音楽学部は、昨年より大学間交流を始めました。その記念すべき第1回目の企画として、交流演奏会が行われました。二人の指揮者によって引き出された個性あふれる両校のサウンド、ぴったりと息のあった合同演奏に、会場中が魅了されました。本学は、今後さらに相互の交流と協力関係を深め、公立私立の壁を越えた人材育成と、両大学の特色を生かし、より一層の教育内容の充実を図ってまいります。

東京音楽大学 シンフォニック ウインド アンサンブル

スミス / 華麗なる舞曲
レスピーギ(萩原 明 編曲) / ローマの祭

京都市立芸術大学 シンフォニック ウインド アンサンブル

まえだ しゅいち / 吹奏楽曲 "Marine Snow"
まえだ しゅいち / 吹奏楽曲 "Catch!"
ホルスト / 吹奏楽のための第一組曲



東京音楽大学・京都市立芸術大学 合同演奏

2014年度吹奏楽コンクール課題曲より I・II・III・IV
バーンスタイン(グランドマン編曲) / 「キャンディード」序曲
「キャンディード」組曲よりIV・V

[アンコール曲]
和泉 宏隆 / 宝島
アンダーソン / 忘れられし夢
パロージ / ブラジル

第3回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ

指揮: ラドミル・エリシュカ 8つの音楽大学の協力と交流を目的に始まった「音楽大学オーケストラ・フェスティバル」の特別編として、各大学の選抜メンバーで構成された「音楽大学フェスティバル・オーケストラ」の演奏会が行われました。

2014年3月28日(金) 19:00
東京芸術劇場コンサートホール

2014年3月29日(土) 15:00
ミューザ川崎シンフォニーホール

2014年3月29日(土) 15:00
ミューザ川崎シンフォニーホール



写真: 指揮者、ホール(左) ©Hikaru, ☆ ホール(右) ©青柳 聡

Master Classes 2014

東京音楽大学 マキシム・ヴェンゲーロフによる ヴァイオリン公開マスタークラス

2014年6月3日(火) 15:00 東京音楽大学100周年記念ホール

マキシム・ヴェンゲーロフ氏を本学にお招きし、ヴァイオリン公開マスタークラスが行われました。

マキシム・ヴェンゲーロフ Maxim Vengerov

1974年生まれ。世界一の实力を持つヴァイオリニストと呼ばれている。5歳で初めてリサイタルを開き、10歳のときにヴェニエフスキ国際コンクール・ジュニア部門で優勝。1990年にカール・フレッシュ国際ヴァイオリンコンクールで優勝し、これを機に世界各地で演奏。現在はザールランド音楽大学でヴァイオリンの教授を務めながら、世界中で活躍中。



辻 彩奈 東京音楽大学付属高等学校2年
プロコフィエフ / ソナタ 第1番 ヘ短調作品80より第1楽章、第2楽章

楽しく、わかりやすかった 貴重なレッスン体験

ヴェンゲーロフ先生は憧れのヴァイオリニストだったので、今回、公開レッスンを受講させていただけて、とても嬉しかったです。短い時間でしたが、たくさんのことを教えていただき、とても勉強になったレッスンでした。音を動物に例えて教えてくださり、楽しく、とてもわかりやすかったです。教えていただいたことを自分のものにして、これからまた勉強し直していきたいと思っています。



周防 亮介 東京音楽大学1年
シベリウス / ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47より第1楽章

間近で聴くことが出来た、 深く染み入る音色

今回は、シベリウスのコンチェルトをレッスンしていただきましたが、曲の情景を考え、それにふさわしい音を追いかけていくことの重要性を改めて感じました。自分なりにいろいろ考えているつもりでしたが、ヴェンゲーロフ先生の音の響きと、自分の音はまだまだまだ浅く、右手・左手の使い方を直すととても良い機会になり、また間近で染み入るような音を聴かせていただくことができて、とても感激しました。



福田 ひろみ 東京音楽大学3年
サン＝サーンス / ハバネラ 作品83

温もりと愛情を感じた 音色とニュアンス

今回のレッスンは本当に驚きの連続でした。先生の演奏を間近で聴くことができ、素晴らしいその音楽に聴き惚れ、もっとその音や演奏に近づきたいという思いが強くなりました。音楽に対しては厳しい先生ですが、ユーモアや温かさをその音色や細かいニュアンスから感じることができ、演奏だけでなく、先生のすべてから音楽の深さを学びました。さらに練習に励もうと思う意思が強くなりました。

幸せに感じた、 憧れの先生によるレッスン

小さい頃から憧れていた、ヴェンゲーロフ先生のレッスンを受けることができて、とても幸せでした。レッスンでは、自分に1番足りない点を丁寧に教えてくださり、とても勉強になりました。普段、自分では出すことのできない音で弾きながら教えていただいたことは、自分にとってまたとない経験でした。先生の音に少しでも近づけるよう、努力していきたいと思っています。



福田 俊一郎 東京音楽大学2年
サン＝サーンス / ハバネラ 作品83

学外の受講生の皆さん

巽 千夏

三重大学附属小学校6年
ヴェニエフスキ / ヴァイオリン協奏曲 第1番 嬰ヘ短調 作品14



三井 恵理佳

コロンビア大学、ジュリアード音楽院3年
ワグネル / カルメン幻想曲



水越 菜生

私立南山中学校女子部2年
サン＝サーンス(イザイ編) / 6つのエチュード作品52より 第6番 ワルツ形式の練習曲



横山 琴子 東京音楽大学3年
ラヴェル / ツィガース

奏でる音一つひとつから 溢れ出るメッセージ

ヴェンゲーロフ先生のレッスンはとても新鮮で、奏でる音一つひとつに物語や伝えたいことが溢れていて圧巻でした。また、ステージ上のあれほど近くで音を感じることができ、アーテリストとしてどれだけ自分の思いを客席に届けることができるか、その重要性を改めて認識しました。

ジルベスターパーティー▶

毎年、オーケストラの一大イベントであるパーティーで、様々なゲームや、室内楽演奏などを行います。私も毎年、日本の曲を演奏しており、オケのメンバーも楽しみにしてくれています。今年は、チェロの飯島奏人君の編曲で「荒城の月」「ふるさと」を演奏しました。メンバーとの交流も深まる行事で、個人的にはこの時間を大切にしています。

(Violin4年 池田 開渡)



◀合奏の様子

今までは難しいパッセージ等が出てくると、「間違えたら嫌だな」といった不安ばかりでしたが、バイエルン青少年オーケストラに参加してからは、「間違えるなら堂々と間違えよう、精一杯音楽をやった上で間違えるのは仕方ないこと」と、音楽に対して前向きに考えられるようになりました。

(Violoncello4年 飯島 奏人)



▼演奏会の様子

とても緊張しましたが、練習の時とは一味違う熱さ、重厚さに驚きながらの本番となりました。

(Violoncello4年 飯島 奏人)



夏期・冬期オーケストラへの参加権10席ずつ獲得!



バイエルン州立青少年オーケストラ
Bayerische Landesjugend Orchester



東京音楽大学
Tokyo College of Music

どんなプロジェクト?

— あなたは世界のオーケストラを知っていますか?

あ

あなたは、世界のオーケストラを知っていますか? bljo (バイエルン州立青少年オーケストラ) はドイツ青少年を対象に結成されている、ドイツ・バイエルン州主催のオーケストラです。バイエルン放送交響楽団のメンバーが主たる指導者となり、毎年新進気鋭の若手指揮者を招いて名演を重ねています。この度、東京音楽大学はこの「bljo」との正式提携を実現させました。これはドイツ一流オーケストラメンバーの指導のもと、2週間の練習と演奏旅行を経験するチャンスがあるということです。今年度のスケジュールが早速出ていますので、奮って参加して下さい。高度な音楽研磨と国際的視野拡大の一助として、日本では経験することの出来ない学びの機会であり、更に、その経験を大学でも生かし広めることにより、他の学生への波及効果さえもたらしていきます。さあ、このチャンスをあなたはどうか掴みますか?

参加学生インタビュー

Q.

1. 参加することになったきっかけ
2. 全体的な報告を簡単に
3. 最も印象に残ったこと
4. 参加して学んだ点が今、どのように役立っているか
5. 参加して感じた日本との違い (オーケストラに関して、文化、生活など)

期間 2014年7月29日-8月10日

場所 Appiano (Eppan) 南チロル

コンサート日程 8月6日 アッピアーノ

8月8日 ニュールンベルグ

8月9日 バイロイト

8月10日 スルツバッハーローゼンベルグ

曲目 L.v.Beethoven: Egmont Overtur

Klaus.J.Burger: "ab origine" Konzert für Didgeridoo und Orchester

D.Schostakowitsch: Symphonie Nr.7 op.60 C-Dur

A.

1. 参加するきっかけとなったのは、2009年にバイエルン放送交響楽団のメンバーが、東京音楽大学にオーケストラの指導に来られた時のことでした。自分は付属高校の2年生で、高校オーケストラでビオラを弾いていました。指導が終わりA館ロビーを歩いていると、バイエルン響のヴァイオリニストである、ダニエル・ノーデル先生に声をかけられ「バイエルン州立青少年オーケストラにビオラ首席で参加しないか」とお誘いをいただいたのです。英語もドイツ語もほとんどしゃべれない状態で、約1か月後、自分は渡独しました。(Violin4年 池田 開渡)

2. 現地に行ってから1週間ほどの練習期間があり、その後はドイツ中部より南下しつつ本番を重ねました。最後の週には巨匠マリス・ヤンソンス氏の指揮で演奏をする機会もあり、感動の連続でした。(Violoncello4年 飯島 奏人)

3. 最も印象に残ったのはユースオーケストラの情熱やけじめでしょうか。本気で『音楽をしたい』という情熱が溢れている仲間達ばかりで、普段はふざけてばかりいる仲間も合奏になると目つきががらりと変わり、もの凄いパワーでした。(Violoncello4年 飯島 奏人)

4. ドイツで音楽を学ぶ学生と一緒に練習をして、彼らの音に対するイメージの強さ、鮮明さ、濃さは素晴らしく、演奏の中で何よりも大事にしているのを感じました。イメージを表現しようとするエネルギーもひしひしと伝わってきました。自分でも音を出す前にイメージを明確に持つことを心掛けています。(Contrabass院2 山内 智世歌)

5. スーパーマーケットや街を走っている車、移動の際に使用したバスの大きさ、街の至る所にある細部まで繊細な装飾が施されている教会。すべてが大きく、かつ繊細な文化が、あの素晴らしいパワーと繊細な音楽を生み出しているのだと感じました。日本で西洋音楽を学んでいる自分が、短い期間でしたがドイツに行き、西洋の音楽や文化に触れられたことは、本当に良い経験になりました。(Violoncello4年 飯島 奏人)

ドイツの音を、つかめ。

2013年度 卒業生教員赴任先

Table listing destinations for graduates becoming teachers in 2013, categorized by public and private institutions across various prefectures.

2014年度 新人教員

小林 愛実さん 東京都立七生特別支援学校 教諭 (ピアノ 2014年大学卒業)



何事も好奇心と 挑戦心をもって... 特別支援学校の教員を志望したきっかけは? 私には高校生の時から、「将来は、障害をもった子どもたちと音楽を通じて関わってみたい」という夢がありました。

現在、高等部2年生の重度・重複学級の副担任をしながら、同学年の音楽2グループ、数学1グループを受け持っています。学級ではコミュニケーションが上手く取れない生徒、情緒が安定しない生徒への対応や身辺の自立に向けた指導、体調管理などに苦勞し、教科では、実態が幅広いレベルの音楽や慣れない数学の指導に苦勞を感じることがあります。しかし、生徒と一緒に楽しみ、考え、熱中する時間は、大学時代に友達とアンサンブルした時のように、とてもワクワクし、やりがいを感じます。生徒の自己表現はさまざまですが、日々生徒と音楽を共有できることに幸せを感じています。



東京音楽大学で学んだ経験が、教育現場でどのように役立っていますか? 例えば、声楽やピアノの個人レッスン、指揮法、伴奏法、教職課程オケ・プラスなどの授業で学んだことは、現在、教員として生徒たちの前に立ち、指導していく内容と直結しており、実践的なことを学べて非常に良かったと思っています。

武井 紗弥香さん 豊島区立高南小学校 教諭 (音楽教育 2002年大学卒業)



現在の活動について お聞かせください。東京都豊島区の小学校に音楽専科の教員として勤務しており、1年生から6年生の音楽科の授業で指導しています。また、課外活動として、豊島区唯一の吹奏楽団である、高南ジュニアバンド(4年生から6年生の希望者、現在95名)も指導しています。同楽団には30年以上の歴史があり、東京都や豊島区の演奏等、披露する場はたくさんあります。「としまおやこコンサート」では子どもたちが東京音大の学生さんと一緒に演奏する機会をいただきました。



第2回 としまおやこコンサート

2014年6月29日(日) 14:00 東京音楽大学100周年記念ホール 演奏:東京音楽大学シンフォニック ウィンド アンサンブル (共演:豊島区立高南小学校 高南ジュニアバンド)



今日コンサートの感想は? 【緊張しましたが、東京音楽大学の学生さんたちに助けていただいたので、上手いきました】 「練習してきたことが全部発揮でき、音楽大学の人たちの演奏をすぐ近くで聴けたことも良かったです」

東京音楽大学で学んだことは、研究をしています。私は、「事務」という職種を通じて研究者の方が仕事をしやすい環境を整えることが主な仕事です。自分が好きな環境で、研究者の方々のびのびとやらせてもらっています。



2013年度 卒業生の進路

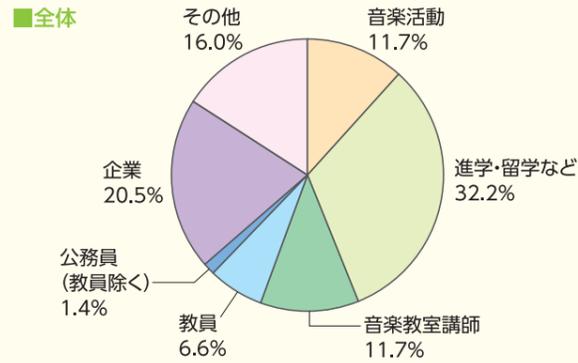


Table showing career paths of graduates in 2013, categorized by field (Music Activity, Study/Abroad, etc.) and profession (Teacher, Music Teacher, etc.).

2014年度 4年生の希望企業

Table listing desired companies for 4th-year students in 2014, including various music-related and general companies.

2014年度 新人企業就職者

村田 未奈美さん 株式会社 熊谷組 (声楽 2014年大学卒業)



視野を広く持ち、常にどうなりたくかを自分に問いかける... 建設業界を希望した理由は? 以前は横浜に住んでおり、近くに多くの歴史的な建物がありました。私はそうした古い建物がとても好きだったので、「建物」には自然に心惹かれていきました。

今後の展望、目標は? 今は、研究所の事務という立場で、微力ながらも研究者の方々を支えることができる人材に一日でも早くなりたいと思っています。

東京音楽大学 卒業演奏会

2014年4月28日(月) 19:00
東京文化会館小ホール

大学生生活の集大成となる卒業演奏会。
卒業生たちは、「音楽家」としての第一歩を
踏み出し始めました。



レインボウ21 サントリーホール デビューコンサート 2014 東京音楽大学プロデュース

道化師は歌う —音で紡がれた悲喜の仮面—

2014年6月9日(月) 19:00 サントリーホール ブルーローズ

第1幕
クライスラー／道化師のセレナード
ヴァイオリン:福田 ひろみ ピアノ:佐藤 葉月

ドビュッシー／
チェロとピアノのためのソナタから第2楽章 セレナード
チェロ:田代 櫻 ピアノ:佐藤 葉月

清水脩／『月光とピエロ』から
『月夜』『秋のピエロ』
『月光とピエロとピエレットの唐草模様』
男性重唱:Ensemble "Moon" テノール:吉田 一貴 船木 巧
バリトン:上田 隆晴 バス:金子 慧一

ストラヴィンスキー／『ペトルーシュカ』から『ロシアの踊り』
ピアノ:鶴澤 奏・中川 真耶加

クーツィール／『子供のサーカス』(抜粋)
I.小さなサーカス・マーチ III.道化し IV.ジャグラー
V.道化し VII.道化し IX.大フィーナレ
金管五重奏:Brass Quintet "Five Jugglers"
ホルン:齋山 隆太 トランペット:小野寺 宏貴 高山 航太
トロンボーン:青木 裕汰 テューバ:木村 悠一

第2幕
ラヴェル／道化師の朝の歌
ピアノ:片田 愛理

ヴェルディ／オペラ『リゴレット』から
『悪魔め、鬼め!』
『女心の歌』(風の中の羽根のように)
『美しい乙女よ』
『お父様を裏切ってしまったの!』
リゴレット(バリトン):上田 隆晴 シルバ(ソプラノ):水野 友貴
マントヴァ公爵(チェロ):吉田 一貴
マツダレーナ(メゾ・ソプラノ):高野 百合絵
ピアノ:中川 真耶加

カバレフスキー(小演 響子編曲)／組曲『道化師』Op.26
指揮:丸山 貴大
室内オーケストラ:Chamber Orchestra "CLOWN"



全ての写真提供: サントリーホール



ソプラノ 溝口 茜
マスネ/
歌劇「マノン」より
"私が女王様のように
道を行けば"

フルート 武田 尚子
フェルー/
フルートのための3つの小品

ホルン 藤井 春香
ヒンデミット/
ホルン協奏曲 第3楽章

ピアノ 安並 貴史
バルトーク/
3つの練習曲 作品18
ラフマニノフ(E.ワイルド編曲)/
ヴォカリーズ 作品34-14

ヴァイオリン 広川 優香
シマノフスキ/
ヴァイオリン・ソナタ
二短調 作品9 第1楽章



ヴィブラフォン 櫻井 勇人
福士 則夫/
ピアノとヴィブラフォンの
ためのシリカ

ソプラノ 水野 友貴
トマ/
歌劇「ミニヨン」より
"私はティターニア"

チェロ 細井 唯
シCHEDリン/
歌劇「愛だけでなく」より
"カドリーユ"

ソプラノ 竹村 真実
レオンカヴァッロ/
歌劇「道化師」より
鳥の歌"大空を晴れやかに"

ピアノ 朝倉 すみれ
グラナドス/
組曲「ゴイエスカス」-恋をするマホたち
第1部 1.愛の言葉
第2部 7.わら人形(ゴヤ風な情景)

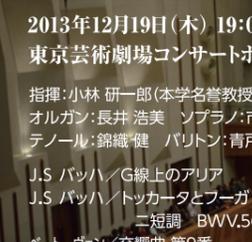
合唱共演 日本フィルハーモニー交響楽団 第九交響曲 特別演奏会 2013



第293回 横浜定期演奏会
2013年12月14日(土) 18:00 横浜みなとみらいホール

指揮:広上 淳一(本学教授)
ソプラノ:佐藤 亜希子 アルト:金子 美香(2001年大学院修了)
テノール:錦織 健
バリトン:ベンノ・ジョルム 合唱:東京音楽大学

ワーグナー/ジークフリート牧歌
ベートーヴェン/交響曲 第9番 二短調 作品125(合唱)



2013年12月19日(木) 19:00・12月23日(月・祝) 14:00
東京芸術劇場コンサートホール

指揮:小林 研一郎(本学名誉教授)
オルガン:長井 浩美 ソプラノ:市原 愛 アルト:清水 華澄
テノール:錦織 健 バリトン:青戸 知 合唱:東京音楽大学

J.S. バッハ/G線上のアリア
J.S. バッハ/トッカータとフーガ
二短調 BWV.565
ベートーヴェン/交響曲 第9番
二短調 作品125
(合唱)



「指導教員より」映像を組み込んだコンサートの担当スタッフとの協力、コンサートの特徴を伝えるための広報活動など、通常のコンサートにはない苦労がありました。しかし、これからの時代、ジャンルを超えた連携やPCスキルが当然のこととして求められます。意欲的な企画を実現できたことが、学生たちにとって、大変良い経験になったと思います。(武石みどり)

企画担当の学生レポート
演奏会の「裏側」に
立つ学生たち

2014年6月9日、私たちが企画・制作した「レインボウ21 サントリーホールデビューコンサート」東京音楽大学プロデュース「道化師は歌う」音で紡がれた悲喜の仮面」が行われました。

私たちが所属する東京音楽大学ACTPプロジェクトでは、授業の一環として演奏会の企画や制作を実際に体験しながら学んでいます。

「レインボウ21」は、サントリーホールが主催する、企画公募制のデビューコンサートです。毎年、様々な音楽大学から出される企画の中から、学生ならではのチャレンジ精神にあふれ、クオリティの高い2〜3案のみが採用され、その企画は、サントリーホールと学生の協力の下に、実際のコンサートとして上演されます。

今回私たちは、「いろいろな層のお客さまにもっとクラシックを楽しんでいただく」をコンセプトに、「道化師」をテーマとして、クラシック音楽とサウンドアート・パフォーマンスという現代芸術とのコラボレーション企画を立案しました。制作期間は半年以上と長く、印刷物・ステージ・

自分が演奏する時と同様、「観客の視線」がいかに重要か痛感しましたが、私たちが努力した分、お客さまから良い反応が返ってくることも感動させられました。演奏の裏側に隠れた皆さんの努力や苦労、そして感動を、これから入学する皆さんにも、是非学び、体験して欲しいと願っています。

公演当日、リハーサルを終え、実際に本番が始まってからは、とにかくあっという間の出来事でした。しかし、その「あっという間」の中に詰まった長い半年間を振り返ると、今でも胸が熱くなります。そして、このような貴重な経験ができたのも、私たちが音楽大学生だからこそです。

広報・チケット担当スタッフの4人に、マネジメント等の担当を加えたチームを組み、より良い公演にするべく、日夜、試行錯誤を重ねながら準備していき、当日まで特に苦労したものではありません。映像関係には、また、演奏者やサウンドアート関係の方々以外にも、サントリーホールのスタッフの方々等、色々な立場の方がいらっしやう、私たちが皆さんにご迷惑をかけるような、緊張の連続だったことを覚えています。

